

緊急消防援助隊 宮城県大隊 仙南ブロック・大崎ブロック合同 後方支援活動訓練を実施しました！

【訓練日時】 令和5年7月21日（金）9時30分から15時00分

【訓練会場】 大崎地域消防本部庁舎敷地内

【訓練参加】 仙南ブロック：仙南地域消防本部，名取市消防本部，あぶくま消防本部
大崎ブロック：大崎消防本部，気仙沼・本吉地域消防本部，登米市消防本部
栗原市消防本部

【訓練協力】 仙台市消防局，塩釜地区消防本部

【訓練参観】 黒川地域消防本部

宮城県内10消防本部（局）から約80名の職員が参加

【目的】 緊急消防援助隊として被災地で救助活動を行う消防隊員の宿営・衛生・給食などの後方支援に関する実践力を身に着ける。

【訓練内容】 ①エアートントなどを活用した100人規模が宿営する演習
②拠点機能形成車及び支援車I型（仙台市消防局・塩釜地区消防本部）の展示
→ 隣接する道の駅「おおさき」利用者にも訓練を観覧頂きました。

【訓練写真】



演習の全景



資機材等の荷下ろし作業



エアートントの設営作業



仙南・大崎ブロックの女性職員20名が参加



レスキューキッチン組立て作業